

企業版ふるさと納税を素材に考える 官民連携による 資金調達と資金循環の設計

【講師】

内閣府企業版ふるさと納税マッチング・アドバイザー／農林水産省SBIR事業メンター／
サツドラホールディングス株式会社 EZOHUB TOKYO インキュベーター／
Office Kasai 代表／島根県江津市創造力特区アドバイザー他

笠井 泰士 氏

＜プロフィール＞

1983年生まれ。島根県松江市出身。2006年財務省中国財務局に入省し、地域金融監督、財政融資業務等に従事、2016年内閣府経済財政分析総括担当、2018年からは内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局にて企業版ふるさと納税や地方版総合戦略等の政策を担当。2021年から金融庁地域課題解決支援チーム代表として、各省庁との政策間連携、自治体や地域金融機関等の課題解決型事業を支援。現在は、民間企業転職・個人事業開業し、官と民との結節点・通訳機能を果たすことをミッションに活動

【企画・司会】

今井 太志（北海道大学 公共政策大学院 教授）
中村 潤平（北海道大学 公共政策大学院 21期）

日時：2026年2月26日（木）15:00～17:00
場所：人文・社会科学総合教育研究棟W302教室
対象：北海道大学在学生・教職員／HOPS卒業生